

-----5月05日-----

※ 今週のアウトルック (5/5~5/9)

先週は、週初から小動きな展開が続いた後、金曜日の米国雇用統計の良好な結果を受けて、一時的には円安が進みました。

その後、ウクライナ情勢の緊迫化を受けてNYダウが下落すると、為替もリスクオフの動きが活発化しました。

今週も方向感を見つけにくい展開が予想されますが、ウクライナ情勢の変化には、神経質な展開となりそうです。

先週のドル円は、前半は動きづらい展開が続き、金曜日の雇用統計発表後は、一時的に円安が進みましたが、ウクライナ情勢の緊迫化を受けて、結果的には下落し、102円台前半で終了しています。

GW明けとなる今週も、材料不足から小動きな展開も予想されますが、ウクライナ情勢の変化には注意が必要です。

ドル円の予想レンジは102円から103円です。

ユーロ円は先週、米国雇用統計の良好な結果を受けて、一時的にはユーロ高が進みましたが、ウクライナ情勢の緊迫化を受けて、幾分下落して終了しています。

今週は、ウクライナ情勢を見守りながら小動きな展開となりそうですが、特に変化がない場合には、ユーロ高が少しずつ進む展開も考えられます。

ただ、ウクライナ情勢に急激な変化があった場合には、一気にユーロ売りという状況も考えられるので、十分な注意が必要のように思います。

ユーロ円の予想レンジは141円から143円です。

ポンド円は、174円付近のブレイクを狙う展開ですが、ウクライナ情勢の沈静化を待ってから、ということになるかもしれません。

ポンド円の予想レンジは171円から175円です。

今週は米国雇用統計の良好な結果を受けて、リスクオンと行きたいところですが、ウクライナ情勢を見守りながら少しずつ、という事となりそうです。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。